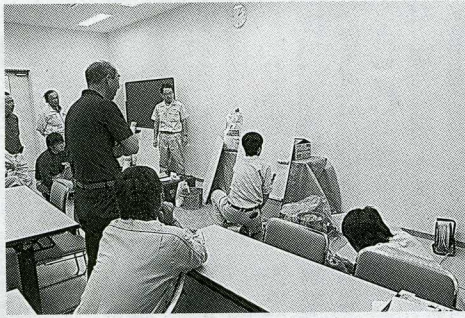


長寿命化の塗り壁材

山口県左官業協組 研修会開く

【防府】山口県左官業協組で、『住宅の長寿命化にお
同組合(下野賢一理事長) ける塗り壁材のあり方』
は17日、山口市秋穂二島 と題した研修会を開催
の山口県セミナーパーク し、組合員ら多数が参加
した。



研修会のもよう

研修会では、四
国化成工業の担当
者らが講師とな
り、「現在、日本の
住宅の寿命は30年
と言われており、
欧州では80年から
100年も使用する
住宅政策が取ら
れている。そんな
中で住宅の長寿命
化が求められるよ
うになり、良いも

の建てて長く暮らして
いくために、石膏ボード
の下地が主流となってい
る中、割れない強い下地
をつくり、塗り壁で安心・
快適な暮らしを送っても
らいたい」と述べ、同社が
推奨する丈夫な下地「S
Kメッシュ工法」の紹介と
実演、要望の多い旧クロ
ス上から施工でき簡単に
塗替えが可能な塗り壁リ
フォーム材の「けいそう
リフォーム」、その上から
塗るけいそう壁の調湿機
能を保った施工ができる
メタリック調の表面仕上
げ材「メタルファス」につ
いて説明した。

その中で、開口部周り
はジョイントを少なくし
角にはジョイントは設け
ない、メッシュは現場に合
わせ施工面よりも大きめ
にカットし重なり部分
は5cm以上にする、下塗り
は石膏系下地材を3mmの
厚さで塗布しメッシュを
伏せ込む、メッシュを使
うことで下地のクラックが
抑えられる、最後の仕上
げ時、模様は考えないで
施工した方が良い雰囲気
になるーなど施工上の注
意点や同工法のメリット
を解説。参加者は質疑応
答を繰り返しながら、実
際に下地材の「GPプラ
スター」やけいそうリフ
フォーム、メタルファスを
使い、扇仕上げやスパニッ
シュ仕上げ、ヒキズリ仕
上げなどの作業を体験し
た。

角にはジョイントは設け
ない、メッシュは現場に合
わせ施工面よりも大きめ
にカットし重なり部分
は5cm以上にする、下塗り
は石膏系下地材を3mmの
厚さで塗布しメッシュを
伏せ込む、メッシュを使
うことで下地のクラックが
抑えられる、最後の仕上
げ時、模様は考えないで
施工した方が良い雰囲気
になるーなど施工上の注
意点や同工法のメリット
を解説。参加者は質疑応
答を繰り返しながら、実
際に下地材の「GPプラ
スター」やけいそうリフ
フォーム、メタルファスを
使い、扇仕上げやスパニッ
シュ仕上げ、ヒキズリ仕
上げなどの作業を体験し
た。